

2022 年秋学期語学留学/釜山外国語大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

1クラス10人ほどの少人数で先生との距離が近く、気軽に質問ができる雰囲気でした。一つ一つ確認しながら進めていくのでちょうど良かったです。

読み書き、リスニング話す、発音の3つに分けられて授業をしました。発音のみプリントが配られ、残りは教科書を用いて授業をしました。先生がパワーポイントを作ってそれを見ながら文法や単語などを勉強しました。

現地の韓国人の先生にすべて韓国語で教えていただいたのですが、クラスのレベルに合わせて簡単に基本的な韓国語の単語や文法を使って授業を進めてくださいました。そして授業で新しい単語や文法を学んでいくにつれて、授業で習った韓国語を使って授業も徐々に難易度が上がって行っていました。書きと読み、聞きと会話、そして発音と三つの科目に分けて二時間ずつ授業を行ったのですが、それぞれの授業で一つ一つの単元を、ゆっくり丁寧に時間をかけて、クラスみんなが理解できるまでわかりやすく教えてくださいました。

授業形態はスライドを使ったもので、ホワイトボードに補足説明を書いてくださるような形式でした。進め方は、教科書通りで、1日に進む量はそこまで多くなかったです。

50分授業が4コマあり、月曜日、水曜日は文法、読解、火曜日、木曜日は書き、話し、金曜日は時事韓国語、プロジェクトの授業だった。科目ごとに先生が変わった。

少人数のクラスなので積極的に参加することが求められます。単元ごとに単語、文法を習い、その習った単語と文法でライティングやスピーキングの練習をしました。

授業形態としては、語学堂の授業を受けましたが、留学前にオンラインでレベル分けテストを行い、1から6級に分かれて毎日授業を受けました。私は6級の授業を受けており、内容はテキストを購入するのではなく、毎回先生方が用意してくださったテーマについて作文をしたり、ディスカッションをするといった内容でした。授業によってはプレゼンや発音矯正といった内容もあったので、インプットするよりもアウトプットする時間が多かったという印象でした。

9人の少人数のクラスで、1時間50分の授業が4コマ、週5日ある。教科書に沿って、文法、筆記、発音、会話を勉強する。

小人数クラスで1週間で1章分を学ぶペースだった。基本、教科書に沿って行われ、授業中にできなかった範囲が課題になることが多い。期末考査の前に、各科目ごとにプレゼンや大きな課題が出されることもあった。グループワークも多く、時間内で会話文を作って発表したり、お題に対して台本や設定を考え動画を作成したりと発想力と会話力を鍛えることができた。

6級は教科書がないためプリントでの授業でした。韓国の文化や現代のことを学んだりする授業が多く難しいですが勉強になる内容ばかりでした。

実力に合わせてクラス分けされた10人程度の少人数で対面授業で行われました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

私と同じクラスには日本人が二人だけでした。ロシア、中国、ベトナム、ブラジル人の多国籍の友達ができ休日はその子たちと勉強したり、カフェに行ったり楽しく過ごしていました。

クラスは9人で、日本人が6人、他外国人留学生(ロシア、アメリカ、ドイツ)でした。

クラスメイトは自分を含め9人でした。9人中6人が日本人で、ロシア人、インド人、そして日本の大学に留学している中また更に韓国にダブル留学しに来た中国人の方が一人ずついました。

クラスは留学生が3人と、日本人が6人でした。留学生は、アメリカ人、ドイツ人、ロシア人で、ドイツ人男性は30歳くらいの大人でした。アメリカ人も一

度日本に留学経験があり、日本語も話すことができる方で、年も少し上だったため韓国で仕事をしているようでした。
クラス人数は 14 人、そのうち日本人が 6 人、留学生の出身国は中国、カザフスタン、台湾、ロシア、ウクライナ、ドミニカ共和国、オーストラリアだった。
9人クラスの日本人6人、インド人1人、中国人1人、ロシア人1人でした。
私が授業を受けていたクラスでは、関西外国語大学の学生 2 人を含め日本人 6 人、イタリア人 1 人、ベトナム人 1 人というクラスでした。日本人同士では日本語を話す場面もありましたが、韓国語を使って話し、イタリア人とベトナム人の留学生とは韓国語で会話をしていたので、休み時間にも語学力を伸ばせたと思います。
3:1、ドイツ、ロシア、アメリカ
クラス人数 12 人、日本人 4 人、カンボジア、1 人、ロシア 2 人、メキシコ 1 人、中国 1 人、台湾 1 人、アフリカ系 2 人
10 人中 8 人が日本人語学堂で 1 番上のクラスだったため日本人の比率が高い。上のクラスに行けば行くほど日本人の比率が高くなる。
クラスは 9 人で、7 人が日本人で他はインド人とロシア人でした。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。
先生との距離が近いのが驚きでした。休日でも SNS で連絡を取り合うことができたり、写真をとったりと楽しい時間を過ごしました。
最初はぎこちなかったですが、徐々に仲良くなっていきました。また、外国人留学生のみんなが発言などするので自然と日本人の留学生も多く発言していったと思います。
日本人が多いせいかクラスはかなり静かで、授業中の発言も一人だけがすることが多かったです。留学生の中に自分より 10 歳以上年上の方もいたのでお互いに遠慮して会話したり授業中話し合ったりしていました。そして日本人が多かったので休み時間の時のクラスは日本語ばかり飛び交っていました。ですが、最後の方になるにつれて韓国語が話せるようになってきたので休み時間も先生と韓国語で話すなど積極的に韓国語を使ってみんな話していました。
クラスの雰囲気はアメリカ人とドイツ人を筆頭に、日本人もみんな発言するタイプだったので、いつも盛り上がっていました。積極的だったり、当てられればしっかり答えられる人ばかりで、活気があり、質問などしやすい雰囲気でした。
発言する機会が多い。(プレゼン、討論、ペアワークなど。)
やはり静かに聞いているだけでなく積極的に発言することが強く求められると思います。
クラスの雰囲気としては、まず先生方がクラスを盛り上げてくださることが多く、座って講義をただひたすらに聞くというよりは発言の機会を多く与えてくださり、日本で授業を受けるよりも積極的に発言できたと思います。また、留学生の方が積極的に発言しているのを見て、私自身ももっと韓国語を積極的に使おうという勇気をもらうことができました。
欧米出身の人がいるクラスは日本人も、活発に発言できる環境だった。
日本と比べると参加型の授業であって、発言する学生も多い。外国人の学生はフレンドリーな人が多いので話やすく、仲良くなりやすい。休み時間はお菓子を分け合いながらお互いの国について話したりしてクラスの雰囲気もとても温かかった。
勉強熱心なクラスでとても楽しかった。イタリアやベトナムの学生も居てお互いの国の話をするのがとても良かった。少人数のクラスなので気になることがあればすぐに質問できる環境だった。
ペアワークやグループでの活動が多い点が日本の授業とは異なると感じました。また、積極的に先生に質問をしたり、授業中で発言する人が多かったり、積極的に授業に取り組む雰囲気がありました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。
他クラスとフリーマーケットをしたことです。自分の持っているものから値段を考えて他の人のものと交換しました。いくらですか。などの実際によく使う文法を上手く使いながら楽しめました。
自分の夢について考える授業です。もう大学 4 年生でこれからどうするのか、どうしたいのか考えさせられる授業になりました。またクラスの人たちはどんな夢を持っているのか、何をしたいのかも知ることができて良かったです。

韓国の文化について学んだ単元はすべて印象に残っています。韓国の祝日や、秋夕(チュソク)やお正月にする挨拶、遊び、食べるもの、数々の伝統的な韓国料理、お祭り、そして韓国人の性格の特徴など韓国語だけでなく韓国について学べたことがとても印象深かったです。

旅行のトピックです。最後の発表で、そのトピックで習ったことを使ったため、より印象に残っています。また、自分自身が出かけることが好きだったため、実生活で使えるなと思いました。

安楽死の容認をすべきか、しないべきかを討論すること。韓国語で討論するのが難しかった。

夢についてのトピックがあったのですが、それぞれ違う国の人が集まって自分の夢を話す際には、それぞれ違う夢だったので不思議に感じて印象に残っています。

私が一番印象に残っているトピックはメディア韓国語という授業で取り上げられた「득템력」という、自分が欲しいものを得るための方法を学んだトピックです。私は以前から韓国人は流行に敏感で、人気になるとすぐ物が売切れたり、限定品を買うために何日も前から並んだりする文化に興味を持っていたので、その文化について深く知ることができたからです。

韓国の文化

韓国の宅配文化について、韓国の紙幣または貨幣にでてくる人物について、韓国の地理について

現代の韓国で起こっている犯罪などについて、性犯罪の内容を学習したことが印象に残っています。

韓国の祝日についてのトピックが印象に残っています。日本にはない祝日や、日本にあっても過ごし、かたが異なる祝日が多くあり、興味深く感じました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

単語の量が多かったので、単語カードを作って一つ一つ書いて覚えていました。復習をよくしていたのが、テストの点数に繋がったのだと思います。

先生がホワイトボードに書いたことは全てメモする、ホワイトボードに書いていない先生が言った言葉も重要だと思ったことは全てメモしていました。

授業中に学んだ新しい単語や文法は授業中にすべて理解できるようにわからないところはその時に先生に直接聞いたり、辞書で調べたりしていました。発音も現地の先生から直接学べるので注意深く聞いて、授業中に習得していました。そして復習はすぐその日にせず、小テストが2單元ごとにあつたのでその時に教科書を見返してうる覚えになっていた単語や文法をノートにまとめていました。ですがそれだけでは身につかないので韓国人の友達と韓国語で話したりして習った韓国語をアウトプットしたりしていました。

わからないことはその授業中に先生に質問し、すぐに解決することでした。理解できてないことが溜まるとその後習うこともどんどん理解しにくくなり、負の連鎖になると思ったので、できるだけその場で質問するようにしていました。

授業の進むスピードが速いため、予習をしていた。

分からないところは積極的に先生に聞いたり、休み時間もクラスメートや先生と話して韓国語のスピーキング力を高めようとしていました。

私は幼いころから、積極的に発言するといったことに苦手意識を持っていたので、留学した時には積極的に発言しようと決めていました。なので毎回の授業で1回は必ず発言することを心掛けました。さらに、毎回の授業前にわからない単語の意味調べと、大まかな内容の理解をしてから授業に臨むよう心掛けました。

予習復習を行った

授業前にしていたことは、分からない単語をしらべること。なぜなら、授業中に単語調べをしていたら、授業のスピードについていけないから。授業後も、必ずその日授業で分からなかった単語をメモに残すようにしていた。級があがるにつれて専門用語も増えるのでテストに備えてコツコツ覚えておくと、役に立つと思う。

予習復習を心がけてわからない単語がないように努力した。

積極的に授業に参加することを心がけ、さらに日本人が多いクラスでしたが、普段から日本語を使わないように工夫していました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
1人	関西外大の日本人の学生です。同じ学年で親しい仲です。	徒歩	0-15分
1人	同じ関西外国語大学の人でした。	徒歩	0-15分
1人	同い年の日本人の関西外大生です。	徒歩	0-15分
1人	日本、関西外大生	徒歩	0-15分
1人	ロシア人	徒歩	0-15分
1人	同じ関西外大の学生でした。	徒歩	0-15分
1人	私のルームメイトは日本人の同い年の方でした。留学前は関西外国語大学の方とルームメイトだと知らされていたのですが、到着すると2日間一人で驚きました。ですが、新しく出会った人と仲良くなることができたのは貴重な経験だったと思います。	徒歩	0-15分
1人	韓国	徒歩	0-15分
1人	日本	徒歩	0-15分
1人	日本人	徒歩	0-15分
1人	タイ	徒歩	0-15分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッドとシーツ、机、シャワー室、トイレがありました。	シーツはありましたが、布団は用意されていなかったため初日に買いに行きました。少し遠かったので大変でした。掃除道具などもすべて用意しました。
ベッド、机、タンス	枕・布団、トイレトーパー、シャンプー類、ハンガー、掃除道具等
勉強机、椅子、ベッド(収納付き)、エアコン、クローゼット、トイレ、シャワー、洗面台、靴箱、コンセント(合計7か所)、Wi-Fiとブラインドカーテン付きの窓がありました。	韓国に行って自分たちで買って用意したものは、布団と枕、ドライヤー、トイレトーパー、掃除道具(小さいほうきと塵取り、コロコロ、ウェットティッシュ、トイレの洗剤、便器ブラシ、ゴミ袋、食器用洗剤)、シャンプー、ボディソープ、石鹸、スリッパ、延長コード、物干し竿、タオルなどです。変換プラグを日本から持ってきたのですが、韓国は現在SEタイプが主流みたいです。
机、ベッド、トイレ、シャワー、洗面所	布団、枕、シャンプーなど、服、靴、寮ないで使うスリッパ、トイレ用スリッパ、部屋用スリッパ、コップなど
机、ベッド、トイレ、シャワー、クローゼットなど。	掃除用具、その他生活用品。
机、ベッドとクローゼットがあり、二人の共有のものとしてシャワー、洗面所とトイレは一緒に使いました。	シーツは支給されましたが、布団や枕は自分で準備しました。その他生活用品も、用意しました。
備え付けのベッド、机のみでした。	机上のライトや消毒、掃除用具など、ほとんど全てを自分で揃えました。
ベッド、机	スリッパ、布団、洗濯用品、入浴用品
ベッド(シーツは無料、布団と枕は有料)、机、クローゼット、トイレ、シャワー、	枕、ハンガー、布団、トイレトーパー、ゴミ箱、掃除道具、電気スタンドなど
机、Wi-Fi、トイレ	洗面用具、布団、枕、掃除道具、物干し竿等

ベッド、机、トイレ、シャワー、クローゼット	布団、枕、掃除用具
-----------------------	-----------

寮生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

フリージムと無人コンビニがあることです。私は毎日のように通っていました。
トイレとシャワーがしきりなしで同じなので最初は驚きました。トイレがすぐに詰まりやすいと聞いていたので、注意しました。
日本と違って驚いたことは、トイレです。韓国のトイレは流すときの水圧が弱くトイレットペーパーを一気に流してしまうとトイレが詰まることが多々あるのでいつも気を付けて流さないといけなかったので大変でした。あと、食事を毎回寮の食堂でとっていて、平日の昼と夜は A 食か B 食で選べたのですが、やはり韓国なのでキムチが毎食あり、辛い料理が必ず一品はあって、毎回辛さを我慢しながら食べていました。食の違いは生活する上で一番戸惑ったことでした。
シャワーがトイレと同じ所にあることがなかなか慣れなかったです。そのため、洗面所にはスリッパを一足準備しておきました。
特になし。
トイレが詰まりやすく、入所3日目で詰まりました。一度に多くのトイレットペーパーを流さないよう意識するか、専用のゴミ箱を買って私たちはそこに別として捨てていました。
寮の食事で朝昼夜毎回キムチが出ることに驚きました。
なし
浴槽がないこと、部屋以外の場所でトイレをする時にトイレットペーパーがついていないところがあること
ユニットバス
トイレやシャワールームの使い方が日本とは違い、最初は戸惑いました。

寮生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

大学は山上にあるので、日本から持って来れるティッシュなど必要最低限のものは持ってくると便利だと思います。
最初は不便かもしれないけれど、結局は慣れるしかないと思います。
トイレやシャワーなど水回りの使い方に慣れることと、食の違いには慣れることが難しいと思うので、無理はせず寮内にコンビニもあるのでサラダやおにぎりやみそ汁などを買ってたまには胃を休めることをお勧めします。ですが日本と違う点はあまりないので部屋でゆっくりしたり、寮のロビーや休憩室に行ったら他の留学生や韓国人と交流したり、自習室で勉強したりしたら日本にいる時より楽しく快適に過ごせると思います。
寮にない生活に必要な物は、始めのうちに買い揃える方がいいと思います。また、ルームメイトと予め話をしておくこと、また決まりごとを決めた方がいいことは決めておくこと、お互いの性格をある程度理解し、寄り添おうとすることが大切だと思います。
一緒に暮らす人とは相手の気持ちを配慮して適度な距離をとりながら過ごすのが良いと思った。
ルームメイトがいるので、できるだけ相手を考える行動は必要です。外出先からの帰宅の時間を知らせたり、電話するときは外に出たり、最低限のマナーは必要かと思っています。
もしかすると今後留学して、ルームメイトが海外の方だったり、合わないことがあるかもしれませんが、自分の持っている価値観にとらわれずに生活してみることは今後の人生に役立つと思うので、快適に過ごせると思います。あとは、寮に住むのであれば、寮の構造や掃除検査の日なども把握しておくといいと思いました。
ルームメイトとルールを決める
初めは自分の思いどおりにならない事の方が多いから、少しずつ生活に慣れていくしかない。ルームメイトがいる場合は全部自分で抱え込まず、すぐに話し合いをして解決するのが一番だと思う。つらいこともあるけれど、仲のいい友人ができれば、寮生活も有意義なものに変わるので前向きに留学生活を送ってもらえたらと思います。
ひとりだけではなくルームメイトが居る場合は一緒に暮らすということを忘れず掃除などを心がけるべき
ルームメイトの生活スタイルに慣れることが重要だと考えます。

パソコンは 持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	LAN ケーブルで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
ダンスサークルに入っていたので忙しかったです。公演 1 週間前は平日に毎日練習がありました。自分のパートは自分で覚えるスタイルだったのでテスト前と重なるとしんどかったです。	寮内のジムとコンビニ、図書館はよく利用しました。また銀行や郵便局も学内にあったので便利でした。
国際交流のサークルに入って 2 回ご飯を食べに行きました。	よく遊びにいったのは西面です。また掃除道具や食料などは e-mart というスーパーでよく買っていました。
留学中ある韓国人の友達から誘われて国際交流サークルに入会しました。最初のオリエンテーションでサークルの説明を韓国語、中国語、英語、日本語で聞いて、その後小さいグループに分かれて日本人の留学生は韓国語や日本語で交流をしました。そしてサークル活動最後の日にはみんなでバーベキュー場に行って最後の交流会をしました。	平日は学校から最寄り駅まで無料のシャトルバスが出ていて、語学堂の授業が午前中だけだったので、午後はそのシャトルバスに乗って最寄り駅周辺のダイソーやオーリーブヤングやスーパーに行行って買い物したり、チキン屋さんや焼き肉を夜ご飯で食べに行ったりしました。そして平日だけ学内の図書館が開いていたのでコンビニで飲み物を買って勉強しに行ったりしました。
秋学期の留学だったため、学祭がありました。有名な歌手の方が来たり、有名なお店のキッチンカーが来たりと、豪華でした。サークルでは、何度かご飯に行きました。	授業が 13 時頃に毎日終わるので、平日でも出かけることができました。平日は同じ関西外大からの留学生と出かけることが多かったです。学校付近では、最寄りの南山駅近くにご飯屋さんがたくさんあるため、バスで行ったりみんなで歩いて行ったりしました。学内は、寮の中の休憩室で過ごすことが多かったです。
日韓言語交換サークルに入って活動した。	ジム、休憩室。
国際サークルに入って月 1、2 回集まる時間がありました。BBQ やハロウィンパーティーが行われ、韓国人だけでなく多くの国の人と交流できました。	綺麗なカフェや夜ごはんを食べに行くことが多かったです。釜山大という駅は大学とも近いし、栄えている町なので夜まで遊んでもタクシーで帰れる距離です。西面駅は、かわいいカフェも服屋さん、雑貨屋さんも多く、少し遠いですがショッピングには良いです。
授業後の自由時間は友達と買い物に出かけたり、現地でもきた友達とご飯を食べに行くことが多かったです。サークルは国際サークルに参加し、	学内では寮の休憩室やジムで過ごし、学校の近辺のご飯屋さんに夕方から食べに行くことが多かったです。釜山外国語大学の周辺はご飯屋さ

BBQ パーティーや親睦会に参加しました。私は語学堂に留学しましたが、大学の文化祭やダンスのイベントなどにも参加し、交友関係が広がったと思います。	んが多く、一週間に一回はそこで食べていました。
韓国の文化体験	カフェ、食堂
Global Association Club に参加していた。主に様々な国の学生と交流できるようなイベントを定期的に主催しており、参加は自由だった。	学内では図書館、カフェ、学生食堂。学校付近では Emart、ネットカフェ。
大学の英語国際サークルに加入したり、クラスの友達や現地の友達と遊んだりしました。	寮の中にコンビニがあり、学校にもカフェがありよく利用しました。
卓球サークルに参加したことで、交友関係が広がり自由時間を学校内外で楽しむことができました。また、留学期間中に大きな学園祭があり、それに参加しました。	学校の近くにあるカフェをよく利用しました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
自分なりの目標を立てて留学に挑みました。全て達成できたので良くできたと思います。
留学前にレベルテストがあるということで、韓国語の教材を読み返したり単語を覚えたりしました。また TOPIK も受ける予定だったのでそれに向けても勉強していました。
大学のハングルの授業で使った教科書を見直したり、TOPIK1 の単語帳を買って少しでも新しい単語を覚えたり、韓国語の基本的な会話が乗っている本を買って発音の練習をしたり覚えたりしていました。
韓国語の勉強。
語学の勉強に励みました。また、どうすればいい生活を送れるか、現代の韓国についてインターネットで調べました。
留学前はパスポートの申請や、コロナウイルスの陰性証明書などの準備や、現地でも必要になる日用品の買い揃えなどの準備を行いました。あとは、現地に着くまでに韓国語を自信をもって話したいと考えていたので、学習面でも準備を行いました。
ハングルの勉強
なるべく単語と文法を勉強しておいた。事前に習った単語や文法を学校では実際に自分の言葉や文章で表現することを求められたため、勉強しておいてとても良かった。
単語や文法の確認
韓国語の授業で学んだことを改めて復習し直しました。

留学前にしておけばよかったと思う準備
もっと単語を勉強しておけば良かったと思いました。初めて見る単語が多くて苦労しました。
もっと日常で使う単語や、お店で店員さんが言う言葉を調べて覚えて理解していたら良かったと思います。店員さんの言葉を聞き取れないのはかなり苦労するので、日常単語、日常的に使う文章を勉強しておけば良かったなと思います。
自分の韓国語のレベルがあいまいだったのでハングル検定や TOPIK を一回でも受けておけば良かったなと思いました。
話す練習をもう少しできていたら良かったなと思います。
韓国語の会話の練習。
特にはないですが、インターネット上でもいいから、友達を前もって作っておく必要があると思います。現地で生活してみて困ったことなどすぐに聞ける人がいれば良いと思います。

現地に行くと、日本では安いものが高値で売られていたり、売っていなかったりするので、SNSなどで事前に必要なものがどれだけあり、現地の価格帯はどうかということ調べていけばよかったと思います。
日常で使う単語を調べる
韓国語をネイティブと話すこと。1人でもくもくと勉強をしてアウトプットをせずに、現地で韓国人を相手に話すと、できるだろうと思っていた感覚とのギャップが大きい。なので事前にネイティブに人と会話することに慣れておけば現地に行っても対応がしやすいと思う。
単語学習
授業では習わなかった、日常生活に必要な単語を自己学習しておけばよかったと感じます。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本のお菓子です。ちょっとしたお礼をしたときに日本のお菓子を添えてお礼を伝えていました。すごく喜んでくれたのが嬉しかったです。
日本のお菓子は喜んでくれました。
部屋に時計がなかったので小さい卓上時計は持って行ってよかったです。あと洗濯機が地下にあったので洗濯物を運ぶ大きいトートバッグも持って行ってよかったです。喜ばれたものは、みんなでご飯に行くと韓国はカード社会なので、一人が先にカードで払って後から口座に振り込むか現金でその人に払うのですが、私たちは口座を作ることができなかったのが現金で渡して、その時に封筒や小さい袋にお金を入れて渡したらとても喜んでくれました。韓国ではそういう文化がないみたいでとても不思議そうにその袋を見ていました。
日本のお菓子。お味噌汁など。
風邪薬。
日本のお菓子やインスタントの食品は、友達作りに役に立ちます。興味をもってくれて仲良くなれる材料だと思います。
日本食が恋しくなるのでレトルトの日本食を持って行ったり、お菓子を海外の友達に渡すと喜んでくれました。説明が簡単な日本のカードゲームなども持っていくといいと思います。
お菓子
日本のお菓子。外国人の友人に誕生日プレゼントとして日本のお菓子をあげた時とても喜んでくれた。
特になし
歯磨き粉が日本のものとは全く異なるため、歯磨き粉を持って行ってよかったと感じます。

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
シャンプーとかは韓国で大きいのを買った方が水との相性も良く、日本から持ってくる必要はなかったと思います。あとはドライヤーですね。	ティッシュやトイレトペーパーを持ってれば良かったと思いました。初日の必要最低限なものは準備して行った方がいいと思います。
日本と韓国ではコンセントが違うので、韓国で対応できないものは必要なかったです。(ドライヤー等)	特になし。
服やスキンケア類は現地で買えるのでたくさん持っていく必要はなかったです。	日本のお菓子やカップスープを何個か持ってくればよかったなと思いました。日本の食べ物はスーパーなどに全然置いてなかったので日本の味が恋しくなった時のために持っていけばよかったです。あと現地の韓国人の友達にあげることができたので少し後悔しました。
靴を5足ほど持って行ったのですが、向こうで買うこともあるのでそんなに沢山いらなかったなと思います。	冬服。日本とそんなに気温は変わらないと聞いていましたが、実際は釜山でも同じ時期の日本に比べてだいぶ寒かったです。みんなコートなどを持ってきていなかったため、関西外大生みんな韓国で購入していました。
レトルトカレー、ご飯。	特になし。
私が持って行った中では特になかったです。	配るためのお菓子や食べ物

私の場合は、必要のなかったものはありませんでした。	韓国のマートは大容量で値段が高いものが多いので、洗剤や普段自分が使用しているシャンプーなどを持って行ったほうが良いと思いました。
物干し竿	なし
割りばし、参考書、ノート	胃薬、食料品
シャンプーリンス	特になし
シャンプーなどは、水質が異なるため現地の物を使用した方が良かったため持っていく必要はありませんでした。	韓国はティッシュが非常に高かったため、ポケットティッシュを大量に持っていけば良かったと感じました。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
現金を10万円もって行って両替をして、あとはクレジットカードを使用していました。	現金は10万円準備しました。クレジットカードの上限はないです。
クレジットカードとは別に新しくデビットカードを作りました。	日本円で6万円程度持っていきました。(もっとあった方が良いです)クレジットカード上限30万円ぐらいだったと思います。
日本にいるときに自分の銀行の口座を開設して海外でも使えるクレジットカードも一緒に作りました。現金はすべて日本にいたときに両替所で韓国ウォンに替えて持っていきました。	クレジットカードの中に15万円、現金は現地の大学に支払わないといけない食費や教科書代もあったので合わせて15万円で、合計30万円ほど持っていきました。
クレジットとデビットカードを主に生活するつもりで、現金は少し持って行っていましたが、クレジットやデビットカードのレートは良くないため、現金を沢山持って行って、レートが良い日にウォンに替える方が損が少なくなったため、少し後悔しました。また、現金で買う方が安い服屋さんなども多いため、日本よりキャッシュレスが進んでいる韓国ですが、日本のクレジットカードを使うことはお得ではありません。	クレジットカード40万円、デビットカード10万円、現金10万円ほどだったかなと思います。性格に覚えていませんが、クレジットカードはだいぶ余った状態で帰ってきました。クレジットカードより現金を使おうとしていたため、現金やデビットカードは使い切りました。
クレジットカード、プリペイドカード、現金	クレジットカード上限30万、現金20万
クレジット社会なのでクレジットは無条件に必要でしたが、友達との付き合いで外でご飯を食べたときなどに割り勘をするのでその時に現金もないと困りました。	
クレジットカード二枚と日本円の現金と現地通貨を準備しました。トラブルが起きる可能性もあるので、クレジットカードは二枚以上あったほうが良いと思いました。	クレジットカード上限30万円、日本円8万円、現地通貨30万ウォンを準備しました。
クレジットカード	30万
クレジットカード	クレジットカード:20万円
クレジット 現金	現金30万ほど
クレジットカードにお金を準備しました。	クレジットカード30万円、現金6万円を準備して韓国に行きました。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

住居費は学費と一緒に関西外大に支払いました。食費は5万程だったと思います。現金支払いでした。

食費で5万円程度。

住居費はプログラム費に含まれていて、食費は寮の食堂 118 食分の約 41,000 円を現地で支払いました。
食費は 40 万ウォン分の食券を入寮の際に買わないといけなかったため、40000 ちよつとを支払いました。外での食費は覚えていませんが、友達と沢山 食べに出かけたので、割とかかったのではないかと思います。ただ、日本より安いご飯屋さんが多いので、日本での大学生活を送っている時ほど、食費はかからなかったと思います。
食費 8-10 万
食堂費が 45000 円ほどだった。
現地で寮の食堂に 4 万円ほど支払いました。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

2冊合わせて 3,000 円ほどだったと思います。通学費は徒歩5分の距離なのでかかっていません。
テキスト代は約 2000 円。
テキスト代は約 2,300 円かかり、大学内に寮があるので通学費はかからなかったです。
ソウルの 2 泊3日の旅行はバスでの往復 1 万 3000 円ほどと、ホテル代 1 万円ちよつと、その他遊んだりお土産を買ったりするための費用がかかりました。
テキスト代5000円、通学費はなし。
寮内に宿舎があるので通学費はかかりませんが、テキスト代は1冊 2000 円ほどだったと思います。
私の場合は教科書を購入しなかったため教科書、通学費ともに費用はかかりませんでした。
テキスト:5000
テキスト代:8000 円、通学費:0 円
通学費は徒歩なので必要なく、テキストは 4 千円ほどでした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

靴に 1 万、美容室に 2 万かけました。後は食費が一番お金を使っていると思います。
ソウルに 2 回程度で 10 万円は使いました。他に服等に使ったので 5~10 万は使っていると思います。
その他個人的費用は全部合わせて約 20 万円かかりました。
旅行、服などに15万円。
旅行に 5 万円、買い物や食事などの費用は 15 万円くらいだと思います。
20 万円
買い物:3 万、交通費:1 万
旅行に 4 万円ほど、生活用品や布団掃除用品を集めるのに一番お金を使ったと思います。
旅行では 1 万円ほどつかい、食費などに 10 万円ほど使用しました。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

語学力は話す力が一番伸びたと思います。初めは挨拶しかできませんでしたが、今は理由など詳しく話すことができるようになりました。また積極的に話しかける力もついたと思います。初めは怖がっていましたが、後悔するより間違っても話しかけてみよう！と思えるようになりました。これが一番大きな変化だと思っています。

<p>韓国語の実力はリスニングがすごい伸びたのではないかと思います。また、コミュニケーション能力も行く前よりは伸びたと感じますが、まだ単語が出てこなかったり、文法が出てこなかったりすることが多いです。</p>
<p>語学は本当にその言語に興味がないと身につかないものだと気づきました。私は語学が好きで英語も自分の語学力でここまで来たので、語学の習得力はあるほうだと思っています。ですがやはり語学は基礎がしっかりしていないと身につかないので今回の留学で基礎をしっかり現地で学ぶことができるとてもよかったです。コミュニケーション能力は自分には全然ないと思っています。さらに母国語じゃないとなると余計に話せなくなるので最初はずっと誰かの韓国語を聞いてインプットしているだけでしたが、語学は間違えることが当たり前だと気づいてから積極的に話そうとすることができました。</p>
<p>語学力はやはり毎日どこにいても韓国語を聞き続けることになるので、リスニング力が格段にアップしました。また、先生方は日本語ができないので説明は全て韓国語です。簡単な韓国語に言い換えて説明してくださるので、韓国語を韓国語のまま理解できるようになりました。コミュニケーション能力も、韓国人の友達を作りたく、話すきっかけを作るために毎日ジムに行ったり、サークルに入ったりしました。また、1番友達がたくさんできた場所は休憩室です。釜山外大は日本語学科の人も多いため、声をかけてもらえたり、1人友達になるとその友達と繋がれたりします。留学生活は3ヶ月と短かったですが、本当にたくさんの友達ができたなと思います。</p>
<p>留学前に比べると話せる韓国語のレパートリーが増えたと思う。</p>
<p>話すまでに時間がかかったり、詰まることがありましたが、日常会話、韓国人の友達と自然に電話できる程度には成長しました。</p>
<p>語学力は授業を通して発言の機会も増え、プレゼンテーションも行えるほど向上したと思います。コミュニケーション能力は語学力より向上し、寮内の人に自分から話しかけることで交友関係も広がりました。また、先生方と話す機会も多く、目上の方と話すことでコミュニケーション能力が向上したと思います。</p>
<p>文法は二級を学んだので、初歩レベル。ルームメイトが韓国人だったので、日常的な会話で使う文法や単語力がついた。</p>
<p>初め、なかなか自分から韓国語を話すことを躊躇していた所から、2、3ヶ月経って自分から店員さんに話はなしかけられるようになったり、ネイティブの方と1対1でも会話をするのが緊張しなくなった。</p>
<p>普通に生活する分には困らないほどの韓国語能力だと思う。またいろいろな人に積極的に話しかけたりした。先生たちとも深く交流することができた。公園で知らないおばあちゃんたちと話をするくらい恥ずかしさがない。</p>
<p>留学に行き、リスニング力とスピーキング力が向上したと感じます。常に韓国語を使用する環境で生活することで韓国語に慣れ、特にこの二つの力が向上したと考えます。また、積極的に人と交流し、友人を多く作ることができたことから、コミュニケーション力が自分の強みであると感じました。</p>

留学前の目標とその達成度

<p>私は1人で買い物に行く、カフェに行くなど1人でできるようになる目標をいくつか立てて行きました。初めは知らない土地で寂しさもありましたが、人が優しいので道を尋ねると丁寧に教えてもらえることができました。</p>
<p>留学前はただ韓国語を勉強したい、会話したいという目標でした。どちらも達成はできましたが、まだ流暢に話すには程遠いなということも実感しました。</p>
<p>韓国行く前に今回の留学で、韓国語の文法の基礎をしっかり身に付けて、韓国語で少しでも話せるようになるという目標を自分の中で立てていました。ですが自分で立てていた目標以上の韓国語を身に付けることができ、今まで曖昧に覚えていた文法がしっかりと習得することができていて、韓国人から韓国語を聞き取って簡単にですが韓国語で会話もできるようになり、自分が思っていた以上の目標に達成することができました。</p>
<p>留学前の目標は日常生活を送れるほどの語学力をつけることでした。まだまだ自分が話すのは得意ではないため完璧なコミュニケーションを取れるほどではありませんが、相手が言っていることは日常生活のレベルなら聞き取れるようになったので、1人で生活するのが怖くないレベルには成長できました。</p>
<p>韓国語の会話能力を上げたいと考えていたが、まだまだ話せない表現があるため達成度は60パーセント程度。</p>
<p>今まで自分で勉強してきたしっかり理解できなかった部分を整理しながら学べて、理解しながら話せたり聞けたりできるようになったと思います。しかし、期間が少なかつただけに達成度は50%ほどです。</p>

<p>留学前は現地の友達を作ること、ネイティブスピーカーと話し聞き取る力をつけること、コミュニケーション能力を向上させることでした。私はこの三か月間で自分の満足がいく水準ですべての目標を達成できたと思います。</p>
<p>目標を達成できた</p>
<p>私の留学前の目標は韓国語を沢山使って、現地の方と意思疎通ができるようになることでした。留学を終えて振り返ると、授業以外でも郊外に出て韓国語を積極的に使えるように行動できていたのではないかと思います。しかし、発音の正確性や、言いたい事を明確に伝えるように改善する事が今後の課題になりました。これから今回達成できなかったことを達成できるように勉強し直したいと思います。</p>
<p>恥ずかしがらずに、積極的に韓国語で話をできたと思います。</p>
<p>留学前は日常生活に困らない程度の語学力を身につけることを目標としていました。3ヶ月を終えて、普段の生活で戸惑うことは多少ありましたが、留学前に比べると語学力が大きく向上したと感じます。</p>

留学を通しての成長ポイント

<p>人に積極的に話しかける力が身についたと思います。なかなか前に出る前に一度考えこんでしまう性格でしたが、考える前に話しかけて話題を広げようと思えるようになりました。明るくなったと思います。</p>
<p>韓国語を喋れない という理由で韓国人と話すことに抵抗や恥ずかしさがありましたが、語学力を伸ばすには話さない意味がないので、たくさん人と話す力が身についたと思います。</p>
<p>今回の留学を通して積極性が身に付いたと思います。今までの自分は自ら動いて誰かに話しかけることや何か行動を起こすということがなくて、今回の留学でそういう自分を変えたいと思っていました。授業で先生から質問される時があり、習った内容のことしか質問しないので絶対答えることができるのですが、学んだ内容を自分の頭の中でフル回転させ、文を作り、韓国語で答えるとその内容が先生に伝わり、自分の韓国語が通じることが繰り返されるたびに自信がついていき、消極的な自分がいるのは失敗をして恥ずかしい思いをすることが怖いのだと気づき、それから自ら言動を起こすことに恐れがなくなり、積極的な自分に変われたと思っています。</p>
<p>物怖じせず積極的に行動することができるようになりました。またコロナ禍で新しい人と関わる機会が少なく、気を遣わない友達と過ごす生活に慣れてしまっていたのですが、この留学生活で新しく出会う人たちとコミュニケーションを取る力がついたと思います。</p>
<p>寮生活を経験し協調性を身につけたと思う。</p>
<p>ひとりで旅行をしたときに、様々なトラブルがありましたが、拙い韓国語でも助けを求めたり、自分で調べて解決でき自信がついたと思います。また、多くの経験から、多くの考え方に触れ人に対して優しく接するようになったと思います。</p>
<p>まず第一に、コミュニケーション能力が付きました。私はずっと自分のコミュニケーション能力が低いことで悩んでいたのですが、現地で海外の方と交流するとみんな積極的で、興味を持って話を聞いてくれる方が多く、自分もその姿勢を大事にしたいと思えました。あとは韓国語の話す力がついたと思います。</p>
<p>失敗を恐れずに、未熟な外国語を話す勇気がついた</p>
<p>行動力がみについた。韓国に到着した時は、誰かと一緒に行動しないと何もできないと考えこんでいたけれど、1か月たった頃、1人で国際映画祭に行ったのがきっかけで自分に自信がついた。その後、行って見たかった観光名所も下調べをして訪れたこともあった。</p>
<p>韓国で生活する力、何より韓国語を以前よりもっと恥ずかしくなく自信を持って発言することができる用になりました。</p>
<p>留学を通して語学力はもちろん、異文化に対する理解力が身についたと感じます。外国で生活することに加え、ルームメイトがタイの人であったため、全く異なる文化に触れる機会が多くあり、異文化に対する興味が強くなりました。</p>

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

<p>留学前はワクワクが大きかったです。留学中は楽しくて時間があっという間に過ぎて行きました。留学後は寂しさもありますが、次に向けて頑張ろうという気持ちです。</p>
<p>留学中は本当に韓国語を勉強したくて、韓国人の友達とたくさん話したくてとても必死に勉強していたと思います。留学前も韓国語能力試験や TOPIK</p>

<p>等もあったので自分なりに勉強していました。留学後の今は韓国語に触れる機会が留学を経験した後なの全然ないと感じてしまいます。</p>
<p>留学前は自分の韓国語のレベルがどれくらいなのか分からず、何から勉強すればいいのかと思っていたのですが、実際韓国に行って授業を受け、韓国人と接していくたび自分は何ができていないのかどれくらいのレベルなのかはつきりわかるようになっていき、留学中は授業で学ぶ範囲はしっかり身に付けようと思い勉強をしていました。そして留学から帰ってきた今、基礎を固めながらさらに韓国語のレベルを上げていきたいと思い TOPIK の参考書を買うなどして自主学習を始めました。</p>
<p>語学に対するモチベーションは大きく変わりませんが、留学後は韓国語をもっとできるようになりたいとより強く思うようになりました。実際韓国で生活してみて、自分に足りないところがあったからだと思います。また韓国語を勉強する楽しさも、日本で生活する以上に感じることができました。そして、韓国の留学生活が本当に日本に帰りたくなくなるほど楽しかったため、韓国語も韓国という国自体も留学前より更に好きになりました。</p>
<p>モチベーションの変化は特になし。常に韓国語を上達させたいと考えている。</p>
<p>留学前は訳もわからずとにかく勉強していたとしたら留学中はしっかり定着させながら勉強しようと思う気持ちが多かったです。また留学後も、多くの韓国語に触れる機会を持つようとしています。</p>
<p>語学学習に対するモチベーションは留学前と留学後変わりなく高いまです。ですが留学中は時間を無駄にしたくないと思い、日本にいるときよりも高まっていたと思います。</p>
<p>韓国語をより理解したいという気持ちが高まった</p>
<p>留学前は、少し自分の韓国語に自信がついていたが、留学にいったからレベルの高い授業を受けて、少し自信を無くしていた。しかし、勉強をめげずに頑張ったおかげで、無事に4級に合格し、留学後はもっと高いレベルを目指したいと思うようになった。</p>
<p>韓国で実際に生活してみて、自分の韓国語の実力で一度も困ったことはありませんでした。それがもっと自信につながり、勉強を楽しくできたと思います。</p>
<p>留学前も韓国語の勉強に対するモチベーションはありましたが、留学中から現在では、現地の友達ができ、その友達とずっと話したいという気持ちが大きなモチベーションとなり、これまで以上に語学力を向上させたいと感じました。</p>

留学中 100%力を振り絞った瞬間

<p>ダンスの公演です。韓国人は8割の部活なので韓国語だけで会話をしていました。初めは馴染めるか心配でしたが、みんなが優しく一緒に踊れたことが幸せでした。</p>
<p>最初の中間テストが一番頑張ったと思います。どんな形のテストなのか全くわからない中で不安だったし、話すテストが一番怖かったです。そのために授業が終わればずっとテスト勉強をして必死でした。</p>
<p>最後の期末試験での会話のテストです。会話のテストはペアで与えられたお題について韓国語で会話するのと、1対1で先生のインタビューを受けるという二つのテストをやったのですが、どちらのテストでも自分が今まで学んできた韓国語の文法や単語を絞りに絞ってなるべく多く長く話し、今の自分が出せる全力を尽くしてテストを受けたのでその時が100%の力を出した瞬間だと思います。</p>
<p>最後の発表の試験です。韓国人の友達に何度も発音を教えてもらい、一緒にたくさん練習してもらい、流暢に喋れるようにフィードバックをしてもらいながら練習しました。その結果、発表は無事成功しました。英語の発音は昔から得意だったため、発音できなくて困ったことがあまりなかったのですが、韓国語は出したことのない発音が沢山あって、難しいことが多かったです。でも、練習してくれた韓国人の友達も、その他の聞いてくれた韓国人の友達にも発音を褒めてもらい、モチベーションのアップにも繋がりました。</p>
<p>期末テストの勉強。課題も沢山あったため、並行するのが大変だった。</p>
<p>留学中の旅では、日本語を話せない韓国人と過ごす時間もありました。下手ながらもなるべく多くの話をしようと努力して、わからない部分もわからないと伝えて疎通を頑張ったと思います。</p>
<p>留学中に友達とよく授業後買い物に行っていたのですが、店員さんと話すときにたくさん質問を投げかけられたときに100パーセントの力を振り絞り、コミュニケーションを図るようにしました。</p>
<p>期末テスト</p>

Speaking の最終課題として行ったプレゼンテーションです。題目設定から PPT の作成そして発表まで 1 人で行わなければならなかったのですが、試行錯誤を繰り返して納得のいく発表に仕上げることが出来ました。

試験勉強をがんばりました。とても覚えることが多いので大変でした。また友達がトラブルや、返品など電話などをしないといけない場合毎回私が電話などをして助けてあげました。

スピーキングのテストの際に 100%の力を振り絞りました。ペアで 5 分間の会話の発表とインタビューのテストの際に、それまで準備してきたことを全て発揮できるように力を振り絞りました。

留学先大学の良かった点

校内も広くて綺麗で使いやすかったです。

先生みんな優しく、わからないこともすぐに教えてくれました。また学校も綺麗で最寄りの駅まではシャトルバスも出ているので良かったです。

寮が大学の敷地内にあること、語学堂が寮のすぐ横にあるので五分で教室に着くことができること、寮が清潔感あってとても綺麗なこと、大学のある場所が自然豊かなこと、寮なので韓国人や他の留学生と簡単に交流できること、外国語大学なので日本語学科があり日本語を話せる韓国人が多いこと、最寄り駅から学校までのバスが充実していること、寮の食堂の開いている時間帯が決まっているので規則正しく食事がとれること、寮に入る時も部屋に入る時もカードキーを使うのでセキュリティーがしっかりしていることがよかったです。

留学先大学の良かったところは、キャンパスがとても綺麗なところです。毎日釜山外大の寮で生活し、この大学に通えるだけで幸せな気分になれました。また、語学堂の先生方が良い方が多かったです。特に私のクラスを担当して下さった先生方は本当に素敵な先生方だったため、お別れが寂しくて、みんな最後の日に先生方も学生も泣いていました。

施設が充実していた。

留学先大学の学生がとても優しく、よく韓国語についても教えてくれたり、いろんなところに連れて行ってくれたり、相談に乗ってくれたり、いい人が多かったと思います。

留学先大学の周辺は治安が良く、繁華街に出る際には電車ですぐだったり、タクシーで 10 分の距離に学生街があったので、とても便利でした。語学堂の授業もためになり、大学でイベントを沢山行っていたので、それらに参加できるという点も良かったと思います。

寮に食堂がある

目の前に寮があるので通いやすかった。

語学堂の先生の授業が楽しく、非常にわかりやすかったのが非常に良かったです。また、留学生でも大学のサークルに参加できたり、学校のイベントに参加できたりすることも良かったです。